

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2011.6.14

京大病院医療安全情報①

【救急外来での患者誤認】

パターン1：【名前検索の落とし穴】

京大はなこ
です。

お名前を教え
てください。



「キョウダイ **ハルコ**」で検索し、1名が表示された。そのカルテを開いて検査オーダーをした。検査技師が名乗らせ確認をしたが、類似の名前のために誤認に気づかず、検査がなされた。

【教訓1】 名前検索は誤認のリスクが高い（聞き間違い、タイプミスなど）しかも、類似した名前だとその後の「名乗らせ確認」による誤認防止策が機能しない。

パターン2：【思い込み】

救急患者、
到着です。

「救急外来患者一覧」
のリストに上がった
この患者だろう。



リスト一覧には1名の患者だけが表示されたので、その患者を選択し、検査を申し込んだ。検査技師が名乗らせ確認をして、誤認に気づいた。当該患者はまだ手続きされていなかったためリスト一覧になかった。

【教訓2】 「患者リスト一覧」からの選択にも、誤認のリスクがある。ただし、名前が違うので、その後の「名乗らせ確認」による誤認防止策が機能する。

インシデント報告に基づいた「改善」です

京大病院医療安全情報①

救急外来は誤認リスクが高い 【独立した2つの方法で誤認防止】

【覚えておこう！】

- 名乗らせ確認は、「名前検索からの患者選択でない」場合のみ有効です。
- 「名前で確認」という1つの方法を2回繰り返しても誤認を発見できません。
- 独立した2つの事象（IDと名前、リスト一覧と名前、など）だからこそ誤認を発見できます。

【誤認リスクの少ない患者選択方法】

1. 「外来患者選択画面」の「診療・検査リスト」を選択。
2. 「予約種別：診療」「診療科：救急」「予約名称：全て」「予約日指定：検索したい日」を選択。
3. 当日の救急外来受診患者一覧より患者選択。

【救急外来でのリストバンド装着を開始します】

- 患者誤認防止のツールの1つにご利用ください。
- 目視になりますが、IDや名前を確認できます。
- バーコードリーダー運用は外来ではできません。

医療安全管理室作成